

「元気が一番」塾

2005.5.21 優しい風 (Loving-wind) 仲島

(<http://www2.bbweb-arena.com/naka602>)

1. 「中学生になったら勉強はしません」(横浜市立東山田中学校入学式の校長先生の言葉)

- ・新校長は、楽天出身の32歳、本城慎之介氏。

「勉強は誰かに言われてするもの、これからは自分で目標を決めて学ぶのです。」

そのための3つのこと。

- ①正解より回答 (誰かに正解を求めるより、自ら回答を出すこと)
- ②思考より試行 (考えてるだけではなく、やってみること)
- ③成功より成長 (現状に満足せず、日々成長していくこと)

2. 「書いてみたいな」 そう思わず作文指導の工夫あれこれ

- ・「え、また書くの?」「書くことがない」「半分でもいい?」「作文きらい!」からの脱却
- ・思わず書きたくなる工夫を これなら書けそうだ
[したこと作文]・・・灰谷健次郎「兎の眼」より足立先生の授業、小谷先生の授業
[先生あのね][見たこと帳][30日日記]
- ・上手く書けた、たくさん書けたという経験を積む
ほめられる、認められる (ほめるコツは、全体ではなくこの部分がいいとほめる)
原稿用紙50枚へ挑戦・・・自分が作者の[修学旅行物語]を書き上げた自信
- ・テクニックから感動体験へ 心が動けば、自分で書き出すもの
- ・兵庫の教育者 灰谷健次郎 東井義雄 戸田唯巳 何度も読み返したい本

3. 「あと〇日で遠足だ!」子どもは遠足が大好き・・・遠足は子どもを育てる絶好の機会

- ・学力低下が心配だから行事の精選で遠足の回数を減らす→→とんでもないこと!
- ・おやつはどうしよう?班は?あそこで遊そべぞ!・・・子どもはワクワク感でいっぱい
- ・「遠足のしおり」は見て、ワクワクするものに。 子どもはいいしおりは大切にする
- ・引率は大事な学習。集団行動の大切さ、公衆道徳、安全・・・しっかり教えたい。
ホームでの並び方、道路の歩き方、集合の仕方 ※安易に、班で行かせるのは×。

4. タンポポを持ってスキップしている子ども・・・そんな感動の記録をつけておくこと

- ・教師は「指示の言葉」と「感動の言葉」どちらが多いでしょう?感動の言葉の多い先生の学級では、心が豊かな子が育ちます。
- ・感動も時が経てば忘れ去られるのです。その記録を残し「心の銀行」に貯めるのです。
- ・学級通信に残す、先生のノートに残す、通知票に残す、連絡帳に残す、写真に残す・・・

5. 感動の「べんとうの輪」事件・・・「みんなの顔が見えて いいねえ」

悲しいことがあればもうすぐ楽しいことがあるから♪WAになっておどろろ♪♪